

保健指導の充実をめざして養護教諭は学級担任とどのように連携をはかったらよいか（望ましい養護教諭のあり方を求めて）

----- 「学級指導」における資料の作成と提供をとおして -----

足利市立西小学校養護教諭 高 橋 イク子

1 はじめに

(1) 養護教諭の仕事の中から

生活の多様化の中で、児童の健康に関する問題も心身の両面において多様化の様相を示し、養護教諭の仕事も複雑となり新しい問題の解決をせまられることが多くなってきている。言うまでもなく養護教諭は健康に関する教育面と管理面の仕事を受け持つ。しかし、ややもすると日常の児童の健康管理、つまり児童のけがや病気への対応や処置、検査や調査とその処理、事務的な仕事等に追われがちとなり、健康教育（特に保健指導）の面での積極性に欠けるきらいはなかろうかと反省する。

(2) 保健指導の限界を考えると

保健指導の充実をはかろうとすると、全校児童を対象に考えて、養護教諭の立場から一人ひとりの児童に働きかけることはもちろんできないことであり、おのずとその限界があるわけである。そこで、どのように児童にかかわったらよいかという問題が生まれる。

(3) 本校における保健指導の基本的な考え方から

本校における保健指導の目標は、本校教育計画全体構想をうけて、「自分のからだは自分で管理し、自分で守る」ことにある、つまり児童の自主的・実践的態度の育成にある。このねらい達成のための課題をどのように解決したらよいか……。

- 以上のことから、保健指導の充実に力を入れるために、養護教諭としてはどのような働きかけをしていくことがよいかを考えたとき、「学級指導」における資料の作成とその提供ということが重要な役割ではないかということ強く感じた。そこで、学級担任との連携をはかり、その資料を活用することによって、児童の実践的な態度の育成に役立てばと考えたのである。

積極的に保健指導をすすめるための一つの手だてとして、資料の提供が考えられるが、わりあい間接的なものが多い。たとえば絵や図表の掲示や保健だより、あるいは統計資料の教職員への配布やその説明など。これらは、6学年にまたがる児童への発達段階を考慮した資料提供にはなり得ない面がある。

学年に応じた資料より説得力のある「学級指導」の資料をめざして、その作成に取り組んでみよう、養護教諭の専門的立場から、「学級指導」における「保健指導」を通して学級担任との連携を深めようと考え、研究に取り組むことにした。

2 学級指導における「保健指導」資料作成上の基本的考え方

(1) 保健指導のねらいと内容の確認

学級指導の特質は、意図的・計画的な指導、即時性・即効性・持続性の重視（子どもの目の前に

ある問題), 学校独自の指導計画に基づく指導(子どもの実態にそった指導), 集団とのかかわりを大切にする指導(望ましい人間関係)にある。

これらをふまえて, 保健に関する指導のねらいと内容を調べてみた。

○ 保健に関する指導のねらいと内容

自分の健康状態について関心をもたせ, 身近な日常生活における健康の問題を自分で判断し, 処理できる能力や態度を養い, 心身の健全な発達を促し, 健康の保持増進に資することをねらいとし, 自分の健康状態の理解に関する指導, 身体や衣服の清潔に関する指導, 病気の子防や環境の清潔に関する指導, 初潮指導, その他, 学校や児童の実態に即して指導する。

資料の作成は, これに基づいてなされるものでなくてはならない。

(2) 「実感に根ざした教育」をふまえ, 学習指導改善に役立つ資料

本校教育目標(指標)「やりぬく力」「あたたかい心」の育成の具体的観点についての全体構想は, 一人ひとりの子どもを大切にする教育を基本的視点としている。それは①一人ひとりの子どもを認め, ②一人ひとりの子どもに学習を成立させ, ③一人ひとりの子どもに責任ある行動をさせることをおさえた。そのベースとして「参加」(疎外感の除去)を考えている。つまり, 落ちこぼれをつくらないことであり, 積極的な意欲づけをすることである。また, 西小学校教育改善構想においては, 「実感に根ざした教育」実現をめざし, 学習指導の改善に努力しなければならないという方向づけをしてきた。「保健指導」における資料の提供も, このような立場から役立つものでありたいと考えるものである。

(3) 学級担任との連携にあたって

保健室(養護教諭)と児童との間には学級担任がいる。ここで考慮すべきことは, 保健指導の目的の達成のみを考え, おしつけだけの資料提供になっては決して効果をあげられないということである。養護教諭は専門的立場から具体的問題を提示し, 学級担任との連絡をとりながら組織活動の輪を広げていくことにも努めなければならないと思う。

以上のことから, これらを基本におきながら保健指導の充実をめざして, 資料提供にあたりたいと考えた。

3 学級指導における保健指導の年間計画

(1) 学級指導(保健)年間計画 ○は1時間扱い ●は $\frac{1}{2}$ 時間扱い

月	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
4	○ 計測のうけ方 ・手の洗い方	・正しい計測のしかた			○ 健康診断	・正しい計測のうけ方
5	○ からだの様子 ・便所の使い方	○ 健康診断	○ わたしのからだ	○ からだのようす (健康診断)		

6	・きれいな歯	○きれいな歯	○むし歯予防	・むし歯予防	・わたしのからだ(男女共通) ・むし歯予防	○健康診断 ・むし歯予防 ○わたしたちのからだ ・伝染病
7	・夏の健康	・うつる病気 の予防 ・汗の始末				・伝染病
9		・手、足をきれいに		○運動会	・室内のけが	
10	・目を大切に	・目を大切に ・予防接種			・目を大切に	○成長するからだ(男女別) ・目を大切に
11		・かぜの予防		○わたしのからだ	○からだの変化(男女別)	
12	・きれいなからだ ・かぜの予防	・きれいなからだ	・かぜの予防		・環境と健康	・環境と健康
1	・かぜの手当て	・かぜの手当て	・うす着と厚着	○かぜの予防	・かぜとインフルエンザ	・かぜの予防
2	・室内の換気	・室内の換気				
3						

(2) 57年度の重点指導(むし歯予防)の学級指導

6月

○1時間扱い

・ $\frac{1}{2}$ 時間扱い

学年	題名	指導のねらい	指導内容
1	・きれいな歯	・じょうぶな歯の大切さを知り、正しい歯のみがき方を身につけさせる。	・むし歯の経験の話し合い ・むし歯の原因とその予防法 ・正しい歯のみがき方
2	○きれいな歯	・むし歯予防週間の意義をわからせ、正しい歯のみがき方、予防のしかたをわからせる。	○むし歯の原因 ・むし歯予防の方法 ・正しい歯のみがき方 ○歯ぶらしのえらび方

3	<ul style="list-style-type: none"> ・むし歯予防 	<ul style="list-style-type: none"> ・むし歯のできるわけと予防法について知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・むし歯のできるわけ ・予防法（歯みがきとぶくぶくうがい）について
4	<ul style="list-style-type: none"> ・「どうして虫歯になるのだろう」 	<ul style="list-style-type: none"> ・6才臼歯の大切さを中心に、むし歯になる原因を科学的・実践的に理解させ、歯みがきの実践意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歯のはえる順序 ・歯くその観察 ・むし歯になるわけ ・歯のみがき方
5	<ul style="list-style-type: none"> ・わたしたちのからだ（男女共通） ・室内でのけが 	<ul style="list-style-type: none"> ・男、女の身体的特徴、からだの変化を知り、協力し合う態度を身につけさせる。 ・自分の生活態度について反省させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・男女差による発育のちがいがい ・男女の協力や思いやり ・けがをした児童の発表（学年別・時間別・種類別）
6	<ul style="list-style-type: none"> ・むし歯予防 	<ul style="list-style-type: none"> ・むし歯予防週間の意義をわからせ、正しい歯のみがき方、予防の仕方をわからせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・むし歯の原因 ・むし歯の予防法 ・正しい歯のみがき方 ・歯ぶらしの選び方
7	<ul style="list-style-type: none"> ○わたしたちのからだ（男女共通） 	<ul style="list-style-type: none"> ・男女の身体的特性、からだの変化、発育の変化のおこるわけを知り、協力し合う態度を身につけさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次特徴と心の変化 ・からだの成長・変化 男～性器の発育、発毛、ひげ、精通現象 女～乳房、月経、子宮の働き ・日常生活での男女の理解

4 今までに積み重ねてきた資料

- | | |
|---|---|
| <p>(1) 「健康の自主管理」の意欲を高める資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康カードによる記録と評価 ・背筋力、握力、肺活量、身長、体重等結果と評価 ・う歯、疾病治療状況 <p>(2) 病気やけがの予防に役立つもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しい姿勢 ・正しい歯のみがき方とう歯予防 ・目の予防 ・集団かぜ予防 ・けがの実態統計 ・児童保健委員による「保健新聞」 <p>(3) 病気やけがの処置に役立つ資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急薬品の使用と処置 ・ほうたいの簡単な巻き方 | <p>(4) からだの発育に関するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体測定の結果 ・性に関する資料 <p>(5) むし歯予防に関する資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・むし歯の進み方図 ・歯の検査結果の統計グラフ ・歯の模型 ・歯のみがき方及び順序の図 ・むし歯の原因、食事、予防等の資料 |
|---|---|
- ・けがや病気の手当てのしかた

☒ 実践例 (学級指導における保健指導, 資料の活用)

I 6年 6月 1時間扱い

1. 主題名 からだと心の成長
2. ねらい 二次性徴について理解を深め, 性に対する科学的視野をひろげる。また, 幸せな人生を送るためには, 人間らしい心づくりが必要であることを理解させるとともに, 心の準備をもたせる。
3. 展開

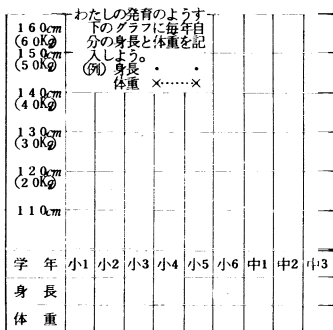
ねらい	指導内容	留意点	資料												
1. 成長の変化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分達の成長や疑問等について考えさせ話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6年生になって, 成長が著しくなったことについて疑問等が出ていることを導入として男女それぞれ成長変化について話し合わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成長記録用紙 資料 1 												
2. 二次性徴	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第二の成長のあらわれとしての変化を理解させる。 ○ 外部の成長と変化 (男子, 女子) ○ 個人差 ○ ホルモンのはたらき 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 男女の発育について女子が一足早く大きくなること。また男子がそのうち追い越すこと等を個人差も含めて理解させる。 ・ 変声, 発毛, 体型, 骨格, 皮膚, 皮下脂肪初潮, 乳房 二次性徴がはっきりしてくる時期を迎えていることを知り, 健康な成長としての変化であることを理解させる。 ・ 成長, 発達は個人差があることを理解させる。 ・ 下垂体の働きと, 他のホルモン分泌について, 大体のしくみを理解させる。 <div style="text-align: center;"> <p>↓ 下垂体からの働きかけ ↓</p> <table style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">精子をつくりはじめる</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">精巣</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">卵巣</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">卵子をつくり出す</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">男性ホルモン</td> <td colspan="2" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">女性ホルモン</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">男らしいからだ</td> <td colspan="2" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">女らしいからだ</td> </tr> </table> </div>	精子をつくりはじめる	精巣	卵巣	卵子をつくり出す	男性ホルモン		女性ホルモン		男らしいからだ		女らしいからだ		<ul style="list-style-type: none"> ・ 男女の成長グラフ OHP 資料 2 ・ 二次性徴 OHP 資料 3 ・ 男女のホルモンの働き 掛図及び OHP 資料 4 ○ からだのつくり図 OHP 資料 5 ○ 男子外生殖器 OHP
精子をつくりはじめる	精巣	卵巣	卵子をつくり出す												
男性ホルモン		女性ホルモン													
男らしいからだ		女らしいからだ													
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内部の成長と変化 ○ 精通 (男子) (11才~17才) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 男女とも外部の変化だけでなく, 内部の変化にも気づかせる。 ○ 女子の「月経」に対して男子には「精通」という生理があることを知らせる。 ・ 自分の意志ではどうにもならない「自然現 													

	<p>象」であることを理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ はじめての月経を「初潮」という。月経は人間の命が永遠に流れ絶やさないためのすばらしい営みであることを理解させる。特に男子には女子のからだのつくりを理解し、思いやりの心をもつようにしむける。 ・ 人間の一生にふれて、幸せな人生を送るためには人間らしい心づくりの必要があることを理解させると共に、これからの成長に不安、悩みがないよう指導する。 	<p>資料6</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ からだのつくり図 女子の外性器 OHP 資料7
--	--	--

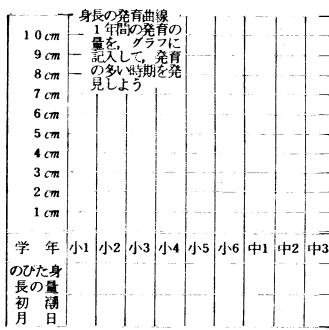
- ・ この学年は5年生の3学期に初潮についての指導がしてあり、今回は男女共通に、二次性徴について理解を深めていくと共に、心の準備をもたせたいと考えた。

4. 使用した資料

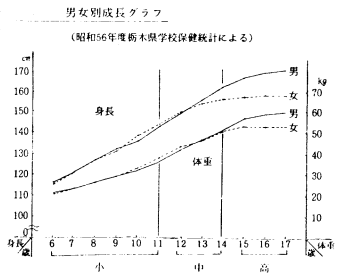
資料1-A



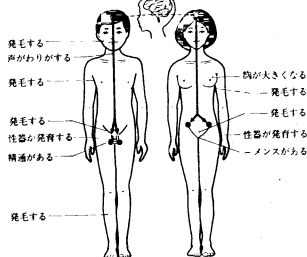
資料1-B



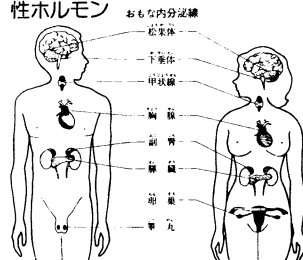
資料2



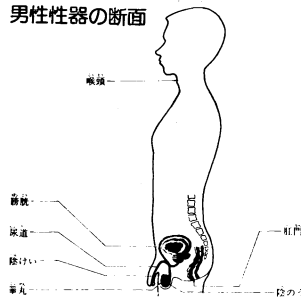
資料3 第二次性徴のおこるわけ



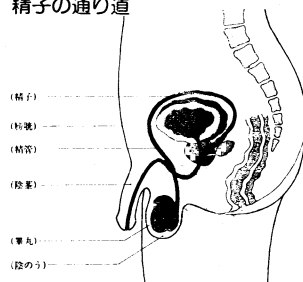
資料4 ホルモンを分泌する器管と性ホルモン



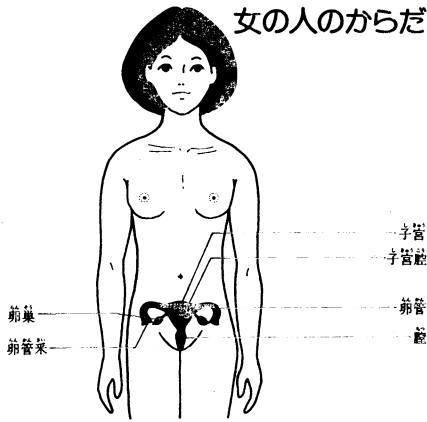
資料5 男性性器の断面



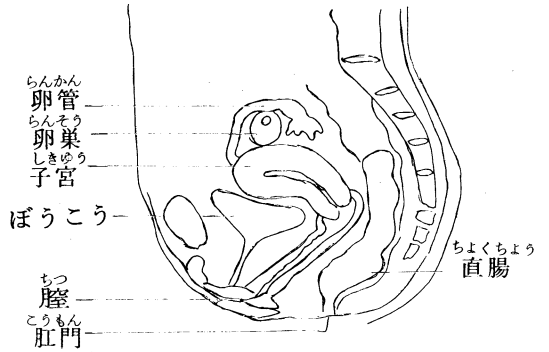
資料6 精子の通り道



資料7



資料8



5. 授業の考慮

(1) 児童の感想

- ・学習してわかったこと又は感想

男子にも生理があること 18人 子宮の通る道や女子の生理 9人

人間のからだの精密さ 7人

- ・からだの発育の変化のことについて、いやな思いをしたこと

ある 2人 (はじめて生理になった時、あせった。)

- ・大人になることについて、不安がありますか。

ある 0人 ない 31人

- ・性器や下着の清潔について気をつけていますか。

いる 31人 ない 0人

- ・男子、女子の立場を考えて仲よく助け合うことに協力していますか。

いる 3人 これからしようと思った 31人

(2) 授業者の反省

- ・資料については、よかったと思う。児童がよく理解できたようである。
- ・資料4 (ホルモンの働きTP) は掛図との重複がみられるので、カットしてもよかった。
- ・導入 (資1) は時間がかかるので事前に作業をすませておくようにするとよい。

(3) 養護教諭の感想

- ・子どもと教師がぴったりと一緒にになって授業が進んで行った。担任がいろいろと性器の事にふれてもだれ一人笑ったり、いやな顔をするものが見られず、終了後も、児童達は未知への不安などもない様子で明るい笑顔がみられた。
- ・児童のおどろきが見られ、真剣に学習し、理解がじゅうぶんになされたように思う。やはり、適切な資料が学習には欠かせないものである。
- ・1時間に扱う資料としては多過ぎる。

Ⅱ 5年 9月 $\frac{1}{2}$ 時間扱い

1. 主題名 室内でのけがは防げないものか。

2. 主題設定の理由

本校の子ども達の災害発生状況の実態から、室内でのけがや遊具によるけがの件数が比較的多いことが統計の結果わかった。特に校舎内での、わるふざけによる階段のけがが、この一週間5年生の児童に続発した。そこで、校内における安全指導のうち、特に校舎内における安全の指導をこころみ、安全に対する意識づけをしたいと考え、これをとりあげた。

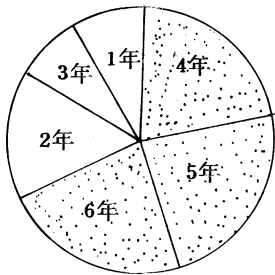
3. ねらい 校舎内におけるけがは不注意によるものが多いことを事実をとおして認識させ、室内の安全に対する適応ができるようにする。

4. 展開

ねらい	指導内容	留意点	資料
<ul style="list-style-type: none"> 学校におけるけがは下学年より上学年に多いことを資料をみて知る。 休み時間にけがが多いことを知る。 休み時間のけがは、ほとんど自分達の生活態度に問題があることを実感としてとらえる。 自分の経験と合わせて友達の事例をきく。 自分の生活態度を反省し具体的に対策をもつ。 	<ol style="list-style-type: none"> 校内で、けがをするのは、何年生に多いかを考えさせる。 何時ごろけが人が多いかを考えさせる。 休み時間にどんなことをしてけがをするのか考えさせる。 室内での過ごし方を話し合わせる。 けがをした友達から状況説明させる。 各自の問題として考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料をみて考えさせる。 4, 5, 6年、つまり上学年に多いことを確認させる。 資料をみて考えさせる。特に昼休みに多いことをおさえる。 いったいどんなことをしていてけがをするのだろうか、おさえる。 「ボール、遊具、鉄棒などはわかるが一番多いのは何んだらう」と疑問を持たせる。 わるふざけ・けんか・いたずら ろうかを走って K君の場合……かいだん S君の場合……音楽室 自分はどうしたらよいか、具体的に考えよう。 	<ul style="list-style-type: none"> 学年別けがのグラフ(OHP資1) 時間別けが(OHP資2) 休み時間のけが(OHP資3) (事例)を一つの資料とする。 作業用紙

5. 使用した資料

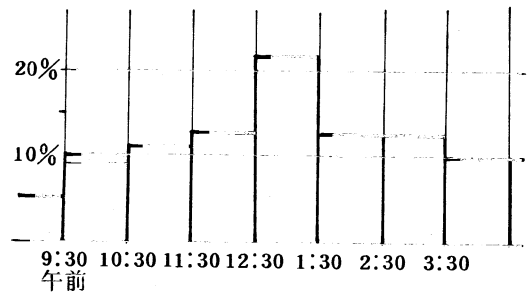
学校でだけがをする人は何年生に多い？



資料 1

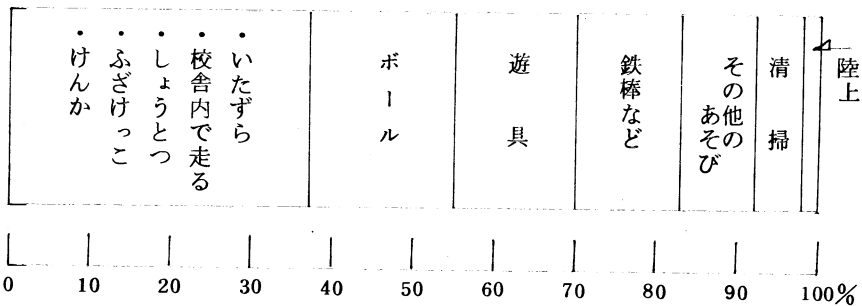
何時ごろに多い？

資料 2



休み時間 (昼休みも入れて) どんなときに？

資料 3



6. 授業の考察

○ 資料の活用について

- $\frac{1}{2}$ 時間の授業としては、資料の内容、資料数が精選されていてよかった。(導入課題の提示資料、問題点をおさえ考えさせる資料として)
- 資料提示の方法として、OHPを使い、考えさせながら重ね合わせの方法をとったのもよい。
- 本校の統計資料に基づいて作られているので、児童が実感として受け止められる資料であった。
- 具体例として、2人の児童に体験発表をさせたのも一つの資料として考えられるものであり、この場合適当であったと思う。(児童への説得力があった。)
- 実践化を考えた作業用紙を用意したのはよかったが、内容的に検討の要がある。

5 指導過程について

- 児童が、自主的・実践的に行動することができない理由として、どのように行動したらよいかわかっているにもかかわらず、どうして、そうすることがよいのか、その理由が分かっていない場合、あるいは、理由や原因は分かっているにもかかわらず、どのようにしたらよいのか、方法や技術がわかっていない場合などが考えられる。そこに着目して、次に掲げる指導過程の基本型をもとにして、A、B、C型の指導過程を工夫し、指導の効果を高めるよう試みたい。

導 入	展 開	開	終 末
問題点に気付かせる。	問題の原因を話し合わせ理解させる。	問題の解決方法を考えさせる。	実践への意欲付けをする。

文部省「特別活動指導上の諸問題」より引用

① 指導過程の工夫

型	導 入	展 開 の 前 段	展 開 の 後 段	終 末
A型	問題の意識化, 共通化	問題の原因や理由の追求, 把握	問題解決, 対処の仕方の追求, 把握	実践への意欲化
B型	問題の意識化, 焦点化, 共通化	<ul style="list-style-type: none"> 問題の原因・理由の具体化 問題が生起する場面状況の想起 問題が生起する原因 	<ul style="list-style-type: none"> 問題の原因, 理解の確認 技術の確認, 納得 	実践意欲の高揚
C型	問題の意識化, 共通化	<ul style="list-style-type: none"> 問題原因理由の確認, 理解 問題改善の方法 技術の具体化 理解 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決方法 技術の習熟, 反復練習, 技術の個別化 	実践意欲の高揚

A型……基本型で学習意欲を高める役割を果たす一般型

B型……展開の前段をふくらませ, 時間をかける。

原因がわからないため実践できない(予想される時), やらなければいけないとわかっているができない児童の指導の効果があげられる。

「姿勢, 目の健康, 教室の換気」等の日常折にふれて注意されている保健指導。

C型……展開の後段をふくらませ, 時間をかける。

やり方がよくわからないため実践できない(技術を身につけさせる)

「正しい歯のみがき方, 清掃指導, ひなん訓練」等, 技術の習熟が必要なものに適した指導に効果あり。

この指導過程については, いくつかの授業研究をした結果考え出されてきたもので, ABCの指導過程については今後の研究課題としたい。

6 まとめと今後の課題

(1) 研究のまとめ

ア 保健室は, 健康に関する資料の宝庫とも言えよう。これらの資料を児童の直接指導に役立てるには……と考えている時, 学級担任から「学級指導」における「保健指導」に適当な資料はないものか, という相談を受けた。学級指導における保健指導に役立つ資料作成と提供は, こんなことから始まった。したがって, ある特定の学級から断片的に手がけ, いくつかのものを累積してきたに過ぎない。

今年度取り上げて作成し授業を通して検討してきた資料には次の主題のものがある。

2年 「はいしゃさん」の資料 $\frac{1}{2}$ 時間扱い

4年 「むし歯はどうしてできるのでしょうか」 1時間扱い（授業書）

5年 「インフルエンザ」 1時間扱い

5年 「室内でのけが」 $\frac{1}{2}$ 時間扱い

6年 「からだと心の成長」 1時間扱い

この研究を通して年間指導計画にある主題について計画的、意図的に資料の累積をはかっていく必要を強く感じた。

イ 子どもがわかる指導資料として、日常の身近な問題から出発するよう心がけ、児童の興味や関心を持たせるよう努めた。活用の結果次のような反省がみられた。

- ・ 学級担任と十分話し合い、内容や授業の流れをおさえたが、1時間（ $\frac{1}{2}$ 時間）内で用いた資料が必要以上に多過ぎたものもあった。
- ・ 導入資料は一応成功したのではないかと思われるが、時間をかけ過ぎるきらいがあった。
- ・ 授業書による資料も提供したが、児童は大変興味を示してくれた。授業書は大変労力をかけて作成するが、使いやすく効果的資料であると思う。（今後の研究課題である。）
- ・ 資料づくりは、これからも学級担任との話し合いの場を持ちながら進めていきたい。このような過程を通して学級担任との相互理解が深められ、積極的な協力が得られるものと考えられる。

ウ 養護教諭は、学級担任とは違った立場にいる。この研究を通して共通の課題で児童の指導に取り組むことができた。

エ この資料活用を通して、学習意欲を高め実践化へのはたらきかけが強められたのは、児童の反応からもうかがえた。「実感に根ざした教育」に役立ち、学習指導の改善につながる資料作成とその提供ではなかったかと思う。

(2) 今後の課題

ア でき上がった学級指導資料については、活用をお願いするためのPRをする必要があった。

（本校保健室にどんな資料が累積されているかをいつも全職員対象に。）

イ 授業研究を通して、その資料が適切なものかどうか、さらに研究を積み重ねていきたい。

ウ 授業書（質問、解説＝絵、図表等と合わせ説明したものなどを、授業の展開にそって作った作業用紙のようなもの）も一つの資料として研究していきたい。

エ 指導過程（A、B、Cの型）によって、どんな資料がよいか、またその活用のしかたがよいかの検討も今後の課題である。

オ 本市教材センターにおける「保健指導」の資料を、授業を通して検討し、本校の指導資料の一つとして加えていきたい。

カ 資料づくりをすすめる過程で、学級担任と話し合いを深め、共同作業し、さらに、学級担任と養護教諭のつながりを深めていきたいと思う。このことが、日常あらゆる場での健康教育、健康管理をよりよく行っていく力になっていくのではなかろうか。

評

学校における保健教育は、保健の一般的で基本的な概念を習得させ、身近な健康の問題を自分で判断し、処理することができる実践的な態度と能力の育成を目指して行われるものであります。学級はこのような指導を児童・生徒の心身の発達段階や健康生活の実態に即して、最も具体的に実的な指導を展開できる場といえます。従って、今日児童・生徒がかかえている健康生活面の問題解決は学級における指導いかにかかっているといっても過言ではないと思います。しかしながら、具体的実践の場では多くの問題点を含んでおり、養護教諭との連携についても同様であります。このような時、本研究の持つ意味は大変意義深いことであると思います。しかも内容等もすぐ活用できるものであり、著者の養護教諭としての日頃からの実践と研究に立脚した誠に貴重な研究であります。今後は、さらに資料活用のためのP.Rの方法や、適切な資料作成等を工夫、研究され発表されることを期待しております。